



おひさま



令和8年5月1日
ほうざい保育園

新年度のスタートから早くも1カ月が経ちました。子どもたちも、新しい生活に慣れてきたようで、毎日元気いっぱいです。過ごしやすい季節になりましたが、日によってはじりじりと日差しが照りつけるような時もあります。子どもたちの健康状態にも注意しながら、安心して遊び込める環境を作っていきたいと思えます。

5月の健診日

- 7カ月健診・・・12日(火)・26日(火)
- 3歳6カ月健診・・・13日(水)・27日(水)
- 1歳6カ月健診・・・14日(木) 28日(木)
- 2歳6カ月健診(歯科)・・・20日(水)

大切な健診ですので、必ず受けましょう。

～絵本の紹介～

『だいすきひゃっかい』

【作】村上しいこ

【絵】大島 妙子



眠くないはるなは、お母さんになぞなぞを出します。
『ねるまえに、はるながいくのはどーこだ!』
思わず親子で抱っこしたくなるようなおやすみなさいのスキンシップ絵本です。

たんぼぼ



どんな味がするのかな♡

以上児

ちいさいちゅうりっぷ



あと少しで届きそうなの♪

おおきいちゅうりっぷ



お集まりが始まるよ☆



力を合わせて運ぼう☆



お点前に参加したよ!



鬼きめどれにしようかな♪

今月の保育料の引き落としは、5月25日(月)です。前日までにご確認をお願いします。



絵本や紙芝居の魅力って何かな？



～絵本の力～

- ・「言葉の発達」 語彙・言葉のリズム・表現力が自然に育つ。
- ・「情緒の安定」 安心感が生まれ、共感や感情の幅が広がる。
- ・「学習の土台」 集中力・想像力・解読力の下地ができる。
- ・「親子の絆」 同じ物語を共有して、会話と信頼が深まる。



～紙芝居の力～

- ・「聞く」 集中力を養い、人の話を聞く力がのびる。
- ・「共感力」 演じ手と聞き手が、お互いに物語世界を共有し、共感力がのびる。
- ・「国語力」 良質なお話を繰り返し聞き、言葉のシャワーを浴び語彙力が身につく。
- ・「文章力」 紙芝居の起承転結、お話の流れ、文章の組み立て方を理解できる。

☆家庭での読み聞かせポイント☆

- ・寝る前などに部屋を落ち着いた明るさにする
 - ・子どもと横並びかひざの上に座る
 - ・一冊だけ、ゆっくり声に出して読む
 - ・読み終わったら「おしまい。また明日読もうね」としめくくる
- 絵本のよみきかせには、ことばの力や想像力を育てる効果があります。また、ぎゅっと寄りそって読むことで、安心感や親子の信頼関係も深まりやすくなります。

園ではお集りの中に読み聞かせの時間を取り入れて、お話しや物語の楽しさに気付けるように取り組んでいます。
絵本を読んでもらうことが好きな子どもたちが増えていますよ。



キラリ発見



どうしたの？
なかないで

お家の人が恋しくなって涙が出たお友だちに「大丈夫だよ」と優しく慰めてくれました。



いっしょにさがしてあげるね

自分のカードが見つからなくて、困っているお友だちに声をかけてカード探しを手伝ってくれました。

『赤ちゃん言葉と幼児言葉』



移行する時期の目安は、1歳半～2歳頃の二語文が始める頃とされています。2歳頃は、言葉の「語彙爆発」の時期とわれ自然と大人の正しい言葉に近づいていくとされています。

- 『ポイント』
- *焦りは禁物！無理強いすることなく楽しい会話を優先していきましょう
 - *子どもの言葉を訂正させるのではなく、大人が正しい言葉で繰り返してあげましょう
 - ★言葉の発達は個人差が非常に大きいと言われています
気になることがあればご相談ください